

携帯電話網を利用した「IP 無線タクシー配車システム」新発売

～全国での通信と、導入コストの低減を実現～



「IP 無線タクシー配車システム」車載機器(ハンディタイプ)

富士通テン(株)(本社:兵庫県神戸市 代表取締役社長: 重松 崇 資本金:53億円)は、タクシー無線配車システムの2013年モデルとして、携帯電話網を使用して広範囲に通信できる「IP 無線^{(*)1}タクシー配車システム」を、7月下旬に発売します。

お客様に一番近いタクシーを瞬時に判断して迎車指示までを速やかに行う当社の「タクシー配車システム」最上位モデル「Type-A」とミドルモデル「Type-S」に IP 無線機を応用したシステムです。

IP 無線は、携帯電話網を使用するため、通信範囲は全国をカバーします。また、基地局の設置が不要となり導入コストが抑えられること、無線免許を必要としないなどのメリットがあります。

新商品のIP無線機は、車載機で使用する通信モジュールを無線機本体に内蔵して取付スペースに制約がある車内環境に対応した他、耐熱性に優れたチップ SIM^{(*)2}を採用しました。振動・熱・埃などの、過酷な車載使用を想定した試験を行い、高い信頼性を確保しています。

【市場背景・企画意図】

国内のタクシー無線は、2016年にデジタル無線に完全移行される予定で、現在までに5割にあたる約10万台の切り替えが完了しています。

当社は、デジタルタクシー無線配車システムの先駆者として、これまで培ってきたノウハウを投入して、車載機器としての信頼性の高い IP 無線を応用した新たなタクシー配車システムを商品化することで、お客様の多様なニーズにお応えし、タクシー無線のデジタル化移行をサポートしていきたい考えです。

当社は2003年8月に世界初のデジタル無線を使ったタクシー配車システムを発売。これまでに全国のタクシー事業者様へ約300システム、移動局3万台以上を納入し、タクシー向けデジタル無線機の累計台数業界トップ37%のシェアを獲得しています。(2013年4月現在当社調べ)

日時	方法
2013年4月25日(木)14:00	資料配布

【報道関係お問い合わせ先】 富士通テン(株)コーポレートコミュニケーション室 角野、佐柄 Tel.(078)682-2170[直通]

【お客様からのお問い合わせ先】富士通テン販売(株)通信営業部 Tel.(078)682-2057[直通]

【新商品の主な特長】

1. 通信エリアが広い

携帯電話網を利用するため、全国で通信ができます。

2. 導入費用が安価

通信エリアの広い携帯電話網を利用するため、基地局を設置する必要が無く、初期投資を抑えられます。

3. 無線免許が不要

携帯電話網を利用するため、無線免許の取得や無線従事者の配備が不要です。

4. 無線不感エリアをカバー

ビルの合間や高架下など、タクシー無線の電波が届きにくい場所の通信感度が高まります。

5. タクシー自動配車システムとのセットアップで効率的な配車業務を支援

当社のタクシー配車システム「Type-A」「Type-S」とシステムアップすることで、お客様の入電から迎車までを速やかに行うことができます。

車両にはカーナビゲーションシステムを搭載できる他、配車センターではスマートフォン受付、インターネット受付などの拡張も行え、効率的なタクシー配車を行うことができます。

6. 車載使用を考えた耐性設計

通信モジュールを無線機本体に内蔵して、取付スペースに制約がある車内環境に対応した他、耐熱性に優れたチップ SIM を採用しました。

振動や熱、埃などの過酷な車載使用を想定した試験を行い、高い信頼性を確保しています。

【IP 無線機の主な仕様】

外形寸法	25(H) × 150(W) × 150(D)mm ※突起部除く	
質量	約 800g	
電源	12V/24V	
通信端末	M2M ^(*3) モジュール	
環境性能	保存温度	-40～85℃
	動作温度	-20～60℃
	湿度	+35℃、95%以下

【用語解説】

(*1) IP 無線 (アイピー無線)

携帯電話網 (3G 回線) を使用した無線。デジタルデータや音声を符号化して伝送する。

(*2) SIM (シム)

携帯電話で使われている電話番号を特定するための固有の ID 番号が記録された IC チップ。

(*3) M2M (エムツーエム) : Machine to Machine

機器同士がコンピューターネットワークを介して人間を介さずに相互に通信し合う通信形態。